

平成27年度第1回 特別史跡熊本城跡保存活用委員会会議録

1. 日時：平成27年5月27日（水）午後2時00分～
2. 会場：熊本市現代美術館 アートロフト（多目的ホール）
3. 出席者：今村委員、北原委員、田中委員、富田委員、中井委員、永田委員、西嶋委員、西村委員、平井委員、松永委員、毛利委員、山尾委員、吉田委員、吉丸委員
欠席者：伊東（龍）委員、伊東（麗）委員、北野委員、千田委員、松本委員、松山委員
オブザーバー：熊本県文化課
事務局：観光文化交流局：西島局長、津曲次長、田上次長
文化振興課：濱田課長、熊本城総合事務所：岩岡所長
熊本城調査研究センター：渡辺所長、河田副所長

4. 観光文化交流局長挨拶

西島局長	<p>この度は委員就任いただきありがとうございます。この2年は、新たな熊本城の保存・活用の指針になるようなものをこの委員会の中でつめていただきたいと思います。ご存知のとおり熊本城は熊本市民の宝でもあり、非常に歴史的な価値のある遺産でもあります。しっかりと後世に伝えていくということが大事であります。また、一方では訪れる人たちにこの価値をしっかりと感じていただき、文化財を大事にしないといけないという思いを多くの人たちに持っていただくということも大事だと思っております。昨年には熊本城調査研究センターを設置し、総合的な調査研究や保存整備のあり方の検証、文献・絵図史料等の収集・整理などに取り組んでいるところであります。また、観光客の方も昨年度は163万人が来られて喜んで帰っていただいております。そのような中で、2019年には世界ハンド、世界ラグビーが熊本で開催され、世界から特に欧米諸国の方々も多数の来熊が予想されます。この方々は日本の文化に触れるのを楽しみにされているのではないかと思っております。そういう意味におきましても熊本城をどのように理解していただくか、どう活用するかということも大事なことだと思っております。任期は2年でございますが是非ともよろしく願いいたします。</p>
------	--

5. 審議事項 (1) 委員長選任【資料1、2、3】説明後

毛利委員	委員長の選任ですが、文化財について大変造詣が深く、調査や復元整備等長年にわたり熊本城に携わっていただきました平井聖先生にできましたらお願いしたいと思います。委員の皆様のご賛同がいただければありがたいと思います。
委員	拍手（承認）
事務局	毛利委員から平井委員ということでご提案いただき、皆様拍手にてご賛同いただきましたので、平井委員に当委員会の委員長をお願いしたいと思います。平井委員は委員長席へ移動をお願いします。
司会	それでは平井委員長より自己紹介を兼ねて一言ご挨拶を頂きたいと存じます。
平井委員長	ただいまご推薦を頂きましたのでこの仕事を引き続きさせていただくことになりました。これまで熊本城の復元に関していくつかお手伝いさせていただきました。そのような関係もあ

	りこの委員会のお手伝いをする事になりました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。皆様方におかれましても熊本城がよく保存されますように、あるいは熊本市のシンボルとして有効に活用されますようにご努力を頂きますようどうぞよろしくお願いいたします。
委員長職務代理の指名	
平井委員長	前回に引き続きまして吉丸委員にお願いしたいと思います。皆様よろしいでしょうか。
	拍手（承認）
司会	ありがとうございました。職務代理は吉丸委員にお願いいたします。

5. 審議事項 (2) 専門部会委員及び部会長選任	
平井委員長より事務局案を提示してもらい、委員の賛同をいただきたいとの提案があり、事務局案を配布説明。	
西嶋委員	事前に本人確認がありませんでしたので、希望を述べてもよろしいでしょうか。
平井委員長	どうぞ。
西嶋委員	熊本経済同友会から推薦され今年度から委員として参加しています西嶋です。経済界も特に計画策定に関して非常に関心を持っており、経済界も合意形成に加わり長期計画を策定して頂くことが非常に重要であると思っています。平成18年2月に一部改訂されて桜の馬場整備等にも影響した内容でありますので、是非活用部会との兼任が可能であれば計画策定部会のお手伝いもさせていただければと思います。
西村委員	公募で選ばれた西村と申します。希望がかなえられるのであれば、是非建築部会に入れていただきたいと思っております。今まで私は建築関係に携わってきた関係で興味があるものですから、願わくばお願いしたいと思います。
平井委員長	ありがとうございました。お二人以外にはご希望はありますか。それではお二人に伺いたいのですが、ご希望は伺いましたがその時に活用部会も兼任していただけるのでしょうか。
西嶋委員 ・西村委員	はい。
平井委員長	それではお二人をご希望のようにそれぞれの部会に加えてください。それでは部会について所属と部会長に関しては皆様ご了承いただけますでしょうか。
	了承。

6. 説明事項 (1) 史跡部会・建築部会【資料4-1】	
(2) 計画策定部会【資料4-2】	
(3) 活用部会【資料4-3】	
(4) 絵図・文献部会【資料4-4】説明後	

西嶋委員	天守閣のあり方について、活用部会においてこれまでもこれからも取り扱われるということでご紹介いただきましたが、耐震補強については活用部会のテーマとして議論検討されるのでしょうか。
事務局	天守閣の耐震につきましては庁内で検討しているところですが、活用部会のみでなく、建築部会の方々にも同時にご意見ご指導いただきながら、専門部会での決定というわけではありませんが総合的に判断していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

吉田委員	計画策定部会の資料の中で各地区に区分されているそれぞれに保存整備方針として「歴史学習体験ゾーン」や「文化交流ゾーン」と出ていますが、表題を見ますと（案）となっていますが、これはすでに決まっていることなのでしょうか。これから検討していく言葉なのでしょうか。
事務局	資料には（案）としておりますが、これまでにおいてご審議いただいているため、決定という方向で進めさせていただきたいと思っています。

7. 各委員自己紹介

今村委員	私は熊本城に関しては最初から関わり平井先生共々大変お世話になっています。今回この委員に任命され、今まで自分が経験したことを踏まえ、是非良い結果が出せればと思っていますので、よろしくお願いします。
北原委員	熊本県立大学の北原です。私は建築構造が専門で、皆様とは違い理系的な方の専門になります。その中でも木質構造という建築学の世界でも研究している人間が少ない分野を専門とし、更にその中でも伝統工法を専門にしています。ただ、京都の町屋や農山村建築など住宅クラス規模の伝統工法建築はある程度研究を進めていますが、熊本城などの大規模建築は伝統建築の中でも非常に難しい、おそらく建築の中でも一番難しい構造だと思います。伝統工法をしているということでお声かけ頂いたかと思いますが、大規模建築は全く経験がありません。ということで皆様と一緒に色々勉強させていただきたいと思っています。どのくらいお役に立てるかわかりませんが、今後ともよろしくお願いします。
田中委員	専門は造園で、史跡整備関係を約半世紀携わっています。熊本との関わりは最初奈良文化財研究所にいた頃に一度あり、文化庁にいる頃には今村委員と一緒に復元構想に関わり、私が退職する頃に完成したかどうかだったかと思っています。最近は今熊本城も策定している保存管理計画が史跡にとって一番大事な要素だと言われていて、少し熊本城は遅れがちですができるだけ早く保存管理方針が決まると後々の整備の基本構想も決まっていくのではないかと考えています。是非保存管理計画が早期にできるように努力していただければと思います。よろしくお願いします。
富田委員	元々市民の人たちと一緒に史跡めぐりを熊本城でしてしまして、結構案内しているのが面白くて、夜間開催したり、昼間開催したり特に築城400年の時は一年間で見学会を110回程開催し、少し頑張り過ぎて今へたっているところです。最近うれしいことがあり、いつも見学会で熊本城は木が多すぎるのではないかという話をしていたのですが、5月6日の熊日新聞の記事に同様のことを大きく書いてくれまして、市民に熊本城の木について考える一つの手立てを導いてくれたような気がします。引き続いて5月14日市民の方の投書で、石垣をきちんとしてほしいという要望が掲載され、いつも私が言っていることがたまたま偶然掲載され少し自慢しています。これからもよろしくお願いします。
中井委員	公募委員の中井です。熊本城はありがたいことに（熊本市民の）高齢者は無料になります。時間があれば熊本城に行っています。隣の富田先生の本を片手に回っています。最近特に団体で来られるお客様が多くなったように思います。海外からの観光客にも熊本城を発信していければという気持ちでいます。素人ですので、素人の目で見ても色々勉強させていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

永田委員	二十数年前に青年会議所で全国城下町シンポジウムを熊本で開催したのですが、その時にど真ん中にいた人間の一人です。当時熊本城は観光資源というよりもシンボリックな存在としてお城を捉えていたように思います。今は観光資源としてお城を見直そうという動きがあります。お城を観光資源としてだけ見ると保存していく段階においてやりすぎるといけないということでこの委員会には前回から出させていただいています、大変勉強になっています。これからも微力ではありますがお手伝いできたらありがたいと思っています。よろしくお願ひします。
西嶋委員	熊本経済同友会から委員にということで参加しています。お城の下の桜町に住んでいます。私が小さい頃、備前掘にザリガニがたくさんいて、仲間とザリガニを取りに行つて遊んでいました。その頃からお城は身近な存在でした。公的な関わりとしては、平成15年に熊本市が利活用検討委員会を設置され、今日ご欠席ですが松本委員長の下、利活用の答申を出しています。その後この保存活用委員会は平成21年から開催されていると思いますが、その1回目と2回目には傍聴させていただいています。ちょうど桜の馬場の整備が2年後に控えた議論真つ只中の頃にこの委員会が設立されスタートしまして、奇しくも今回正式に委員になれたということです。私にはしがらみがありません。しがらみがある方はなかなか本当のことが言えない方が多いようですので、是非本音で参加させていただきたいと思っています。よろしくお願ひします。
西村委員	南区の田迎に住んでいて、家族構成は家内が一人、めだかが七匹で生活しています。専門は建築で、建築の中でも施工になります。二年前まで前の会社において色々熊本城でお世話になりました。旧細川刑部邸、戌亥櫓、奉行丸塀、西出丸塀、長局櫓最近では馬具櫓までの仕事に携わり2年前に退職しました。現在は全く別の測量会社の顧問をしています。私は小学校がこの近所で、小学校の時は写生大会で熊本城に行つて絵を描いたような記憶があります。その頃は昭和20年代でしたのでまだ今のようなお城の形態はありませんでした。ほぼ宇土櫓が一つとあとは石垣でした。谷干城の銅像があり、午砲台から熊本の街の中がよく見えた時代です。今先程富田先生が言われたように樹木はかくも多くはなくて非常に城下が一望できた時代が昭和20年から30年初め頃だったと思います。それに比べると現在はすこぶる緑が豊かで、外から見たら森の中に櫓が建っているというような感じがします。中学校の時はお城を市民が大変活用して、熊本博覧会という熊本城の中で博覧会が行われた記憶があります。そのようなことで熊本城は生活の一部と自負していて、熊本城は熊本だけの宝でもなく、日本だけの宝でもなく、是非世界の宝物に、世界遺産になっていただきたいと思っています。微力ではありますが、それに向けてお手伝いができればと思っています。
松永委員	下通繁栄会から参加していて今度中心商店街のまとめ役になる予定になっています。研究していることは、全国の都市の駅ビルと中心商店街の関係、新幹線の開業効果と中心商店街の関係、郊外大型店と中心商店街の関係などを研究しています。いろいろな学者さんに聞きますと熊本の場合は熊本城があるから中心商店街は大丈夫だよというご意見が多いです。私達も熊本城に観光客がたくさん来られ、そこから皆さんが城下町に流れていただくことが一番中心部の活性化につながると考えていますので、活用部会にさせていただき何かのお役にたてればと思っています。どうぞよろしくお願ひします。
毛利委員	私は一新校区の自治協議会の会長をしています。去年新町が惣構の中にあるということを確認していただきました。今年4月1日には熊本が電子地図を作り地域がどこの学校区に入るかということが全部決まったのですが、天守閣のある本丸地区が一新校区ということに決ま

	<p>りました。熊本城から花岡山の中腹までが私が所属している一新校区ということで大変広い範囲になります。そのほか熊本城で言うならばNHKがある千葉城地区は城東校区になりますので、それ以外の熊本城に関係するところは全て一新校区ということでこれは人事ではない。もちろん私も熊本城は子どもの頃から遊んでいた場所ですし、藤園中学校の時には新町からお城の中を歩いて通学していました。大人になってからは城下町の町案内を一週間に2回程歩いて、何とかお城と城下町が続くような街づくり、城下町らしさが残るような街づくりにしていきたい。将来は、高麗門、新三丁目御門、新一丁目御門などの櫓門の一部でも復元ができ惣構がここまであったというものができたら良いなと思っています。それからもう一つ、現在監物台に樹木園がありますが、江戸時代から明治の初めまでは諸木園という樹木園が現在の三の丸駐車場、旧細川刑部邸の向かいの駐車場にありました。その頃の樹木園のあり方とかそれが1952年監物台に樹木園ができてどのように変わったのか江戸時代から熊本城はどのような樹木を育てていたのかそのようなこともこれから研究していきたい。また、藤崎台のクスノキにフクロウがいるということを前に一度話ささせていただいたが、そのフクロウが何のフクロウかやっと判りました。九州フクロウと言われている大きなフクロウです。学芸員の方に確認していただいた。そのような自然がいっぱい残っている熊本城をこれからも大事にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
吉田委員	<p>福井工業大学の吉田でございます。新参者なのに最初から建築部会の部会長ということで戸惑ってしまっていて、しかも委員の方の数を見ると建築部会は3人しかいません。そこで西村さんに加わっていただき非常に心強く思っています。よろしくお願いいたします。</p> <p>福井から今日は7時過ぎに出発して12時過ぎに到着しました。結構時間がかかることを痛感した次第です。私は福井で平成14年から地元の市民グループと立上げ、福井城の復元を進める会の世話役をしています。10数年経ち復元できたのは2つぐらいです。そのようにしてみると熊本城はすごく急ピッチで進んでいるということですのですごく羨ましく思っていました。昨年秋久しぶりに熊本城を見せていただき、学生の頃からのあまりの変わり様に驚いた次第です。やはり県なり市なり行政が積極的に取り組む、それに市民がついていくという形がなければなかなか街づくり・都市計画というのは進まないのだなということを痛感しています。熊本城に関してはこれから勉強させていただくつもりですが、むしろ熊本での進め方を福井に持ち帰り参考にさせていただければと思っています。色々な面で精一杯勤めさせていただきますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
吉丸委員	<p>熊本県文化協会長をしています吉丸です。引き続き委員就任させていただきありがとうございます。私は文化一般のことをしていますが、他に細川コレクション永青文庫の常務理事もしてまして、東京と熊本を行ったり来たりしています。今資料を見ていて、絵図・文献部会も永青文庫のことが書いてあり、非常に大事な話ですので全面的に協力していきたいという気持ちでいっぱいです。それから私はお城とは直接関係ありませんが、水前寺公園の古今伝授の間を市の基金をいただきながら全面的に改修し、今では見事な形で復元することができました。おかげさまで昨年と今年では7万人ぐらい入館者が増えたということで徐々に良い方向に向かっていきます。もちろん熊本において熊本城は宝ですが同時に水前寺の歴史ある公園も合わせて盛んになっていけばいいなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
平井委員長	<p>最近は大丸御殿大広間の復元に際して委員長をさせていただいたりしてお手伝いをさせていただいているのですが、私がそもそも熊本城に足を入れたのは昭和20年であります。その頃天守のない石垣に登った覚えがあります。途中までしか登れませんでした。その後数寄屋</p>

	<p>丸二階御広間お手伝いさせていただきました。本丸御殿大広間もお手伝いして完成したのですが、私には大きな不満が、廊下をお殿様が歩くと城下町から丸見えというこのような復元はお城としてあり得ないと思っています。ですから小広間も復元していただかないと殿様が歩いている姿が城下町から見えるようなお城はどこにもないはずです。もう少しお城らしく整備していければ良いなということでお手伝いを相変わらずさせてもらっているということです。それが実現できるということになれば引っ込みたいと思っています。もう年なのでここまで来るのも大変なのですが、何とか今のところ健康にしていますので、お手伝いできることがあればしたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。</p>
--	---

8. その他 連絡事項

司会	<p>次回の全体の委員会の開催につきましては、来年3月下旬を予定していますが、緊急の審議案件や報告事項等ができました場合は委員長と相談の上臨時的に開催する場合がありますのでご了承の程よろしく申し上げます。また、各専門部会につきましては今後各部長と日程調整を図り適宜開催していきたいと考えています。なお、開催日時につきましては決まり次第ご案内しますのでよろしく申し上げます。</p>

9. 閉会